

T. K. 大数学 1975

[解] $f(x)=0$ の2根 α, β として $f(x)=(x-\alpha)(x-\beta)$ とおく。

$$f(f(x)) = (f(x)-\alpha)(f(x)-\beta) = 0 \quad \text{--- ①}$$

が重根を持つ。 α, β から対称性から $f(x)-\alpha=0$ が重根を持つ時のみ考え
 4(1)は良い。 $f(x)-\alpha = x^2+2x+\alpha\beta-\alpha = 0$ の判別式 D とし $D=0$ とおる。

$$D/4 = 1 - (\alpha\beta - \alpha) = 0 \quad \therefore 1 + \alpha - \alpha\beta = 0 \quad \text{--- ②}$$

$\alpha + \beta = -2 \therefore \beta = -(\alpha + 2)$ なるから。②に代入して

$$1 + \alpha + \alpha(\alpha + 2) = 0$$

$$\alpha^2 + 3\alpha + 1 = 0$$

$$\alpha = \frac{-3 \pm \sqrt{5}}{2}$$

したがって $(\alpha, \beta) = \left(\frac{-3 \pm \sqrt{5}}{2}, -\frac{1 \pm \sqrt{5}}{2} \right)$ (複号同順) となる。

$$\alpha = \alpha, \beta = \frac{-1 + \sqrt{5}}{2}, \frac{-1 - \sqrt{5}}{2} \quad \text{--- 4}$$

である。この時 $r = -1$ となる。

第 3 問

[解] 与式E①とおく。真数条件から $\frac{x-2}{x-1} > 0$ 、 $\frac{3-x}{x} > 0 \Leftrightarrow 0 < x < 1, 2 < x < 3$. ②とおく。

1° $0 < x < 1$

$$\textcircled{1} \Leftrightarrow \frac{x-2}{x-1} < \frac{3-x}{x} \Leftrightarrow (x-2)(x-1)x^2 < (3-x)x(x-1)^2$$

$$\Leftrightarrow x(x-1)(2x^2 - 6x + 3) < 0$$

$$\Leftrightarrow 0 < x < \frac{3-\sqrt{3}}{2}, 1 < x < \frac{3+\sqrt{3}}{2}$$

だから②とあわせて

$$0 < x < \frac{3-\sqrt{3}}{2}, 2 < x < \frac{3+\sqrt{3}}{2}$$

2° $1 < x$

$$\textcircled{1} \Leftrightarrow \frac{x-2}{x-1} > \frac{3-x}{x} \Leftrightarrow x < 0, \frac{3-\sqrt{3}}{2} < x < 1, \frac{3+\sqrt{3}}{2} < x$$

だから②とあわせて

$$\frac{3-\sqrt{3}}{2} < x < 1, \frac{3+\sqrt{3}}{2} < x < 3$$

以上より

$$\left. \begin{array}{l} 0 < x < 1 \text{ の時 } 0 < x < \frac{3-\sqrt{3}}{2}, 2 < x < \frac{3+\sqrt{3}}{2} \\ 1 < x \text{ の時 } \frac{3-\sqrt{3}}{2} < x < 1, \frac{3+\sqrt{3}}{2} < x < 3 \end{array} \right\}$$

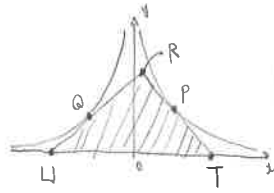
—#

[解] 2 接点を $P(t, \frac{t}{t^2+s^2})$ $Q(-s, \frac{s}{t^2+s^2})$ と

す。 P, Q の接線は $(\frac{x}{t}) + (\frac{y}{s}) = -\frac{1}{t^2+s^2}$ である。

$$l_P: y = -\frac{1}{t^2+s^2}x + \frac{2}{t}$$

$$l_Q: y = +\frac{1}{s^2}x + \frac{2}{s}$$



と接点を R , l_P の x 切片 T , l_Q の x 切片 U とす。

$$\left\{ \begin{array}{l} R(2 \frac{ts(s-t)}{t^2+s^2}, 2 \frac{t+s}{t^2+s^2}) \\ T(2t, 0), U(-2s, 0) \end{array} \right.$$

よって、題意の Δ の面積 f は R から UT への垂足 H として

$$f = \overline{UT} \times \overline{RH} \cdot \frac{1}{2}$$

$$= \frac{1}{2} (2t+2s) \cdot 2 \frac{t+s}{t^2+s^2}$$

$$= 2 \frac{(t+s)^2}{t^2+s^2} = 2 \left(1 + \frac{2ts}{t^2+s^2} \right) \quad \dots \textcircled{1}$$

AM-GM から、 $t^2+s^2 \geq 2ts$ $\therefore 1 \geq \frac{2ts}{t^2+s^2}$ ($\because t, s > 0$) である。等号成立は $s=t$ の時。

よって $\textcircled{1}$ から、

$$f \leq 2(1+1) = 4$$

となる。

[解1] (1) 丁度1本あるのは、Aから引いた球の色で場合分けして、(C₁とC₂とC₃)

$$\begin{aligned} & \frac{1}{6} \times \frac{{}_3C_1 \cdot {}_7C_2}{{}_{10}C_3} + \frac{2}{6} \times \frac{{}_2C_1 \cdot {}_7C_1}{{}_{10}C_3} + \frac{3}{6} \times \frac{{}_3C_1}{{}_{10}C_1} \\ &= \frac{1}{6} \times \frac{21}{40} + \frac{2}{6} \times \frac{14}{30} + \frac{3}{6} \times \frac{3}{10} \\ &= \frac{63+112+108}{720} = \frac{283}{720} \quad \text{---} \end{aligned}$$

(2) 排反を考える。1本もあたらないのは、

$$\begin{aligned} & \frac{1}{6} \times \frac{{}_7C_3}{{}_{10}C_3} + \frac{2}{6} \times \frac{{}_6C_2}{{}_{10}C_2} + \frac{3}{6} \times \frac{{}_7C_1}{{}_{10}C_1} \\ &= \frac{1}{6} \times \frac{7}{24} + \frac{2}{6} \times \frac{7}{15} + \frac{3}{6} \times \frac{7}{10} \\ &= \frac{70+224+504}{1440} = \frac{798}{1440} = \frac{133}{240} \end{aligned}$$

だから、少なくとも1本あるのは

$$1 - \frac{133}{240} = \frac{107}{240} \quad \text{---}$$

[解2]

(1) 10本から丁度1本を左から引くとすると、

$$\begin{aligned} & \frac{1}{6} \times \frac{{}_3C_1 \cdot {}_7C_2}{{}_{10}C_3} + \frac{2}{6} \times \frac{{}_2C_1 \cdot {}_7C_1}{{}_{10}C_3} + \frac{3}{6} \times \frac{{}_3C_1}{{}_{10}C_1} \\ &= \frac{283}{720} = \frac{283}{720} \quad \text{---} \end{aligned}$$

[解] $F(x) = \frac{1}{x^2} \int_0^x f(t) dt$ の両辺を微分して

$$F'(x) = -\frac{1}{x^3} \int_0^x f(t) dt + \frac{f(x)}{x} = \frac{1}{x} (f(x) - F(x)) \quad \dots ①$$

である。ここで、題意から、 $0 \leq t \leq x$ の時 $f(t) \geq f(x)$ なる。同様に積分して

$$x f(x) \geq \int_0^x f(t) dt \quad \dots ②$$

したがって、 $0 < x$ の時、②の両辺を x で割って

$$f(x) \geq F(x) \quad \dots ③$$

したがって、①の右辺は 0 以上だから、 $F'(x) \geq 0$ 。つまり $F(x)$ は単調増加関数

だから、 $y = G(x) = xF(x)$ とおく。

$$G(x) = f(x)$$

だから、 $x > 0$ の時

$$3F(x) = f(x) \Leftrightarrow 3xF(x) = x f(x) \Leftrightarrow 3G(x) = xG'(x) \quad \dots ④$$

である。

$$3y = x \frac{dy}{dx} \Leftrightarrow \frac{3}{x} dx = \frac{1}{y} dy$$

両辺を積分して、 C_0, C は定数として、

$$3 \ln |x| + C_0 = \ln |y|$$

$$\therefore y = C \cdot x^3$$

とわかる。両辺を微分して、 $y' = f(x)$ 、

$$f(x) = 3Cx^2$$

$f(1) = 1$ から、 $C = \frac{1}{3}$ となる。 $f(x) = x^2$ である。逆に入るとき、 $f(x) = \frac{1}{3}x^2$ となる。

- $f(x)$ は連続かつ単調増加
- $3F(x) = f(x)$
- $f(1) = 1$

とわかるから、以上から $f(x) = x^2$

[解2] (後部)

①から $f(x) = xF(x) + F(x)$ だから、 $y = F(x)$ として

$$3F(x) = f(x) \Leftrightarrow 3y = x \frac{dy}{dx} + y \Leftrightarrow \frac{1}{x} dx = \frac{1}{2y} dy$$

積分して、

$$y = C \cdot x^2$$

とわかるから、 $f(1) = 1$ から $C = 1$ となる。 $f(x) = x^2$ である。(以下略)